

めだかの学校だより

令和3年5月1日
第112号
学舎：磐田市敷地
「旧豊岡東小学校」
事務局：静岡県磐田市
家田529-20
TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一二回 校長 川嶋 ひろ子

私は来月で80歳になります。おかげで健康に恵まれました。少しでもいいから人のお役に立て、喜んでいただけたら幸せと思つて生かさせて頂いております。

思いもよらないコロナ禍の結果、外出もままならなくなり、時間がいっぱい出来た時、己を振り返り自分の人生を見つめ直す時を言い頂き、気がついた事がたくさんありました。

なんといいっても健康でまだまだ夢や目標いっぱいあることの有難さです。

身体も心もひ弱で、51歳まで専業主婦をしていた私が、ひよんな事から夢中になった「美と健康」。これをテーマにした様々な製品に出会い28年になります。

2017年、我国に於ける90歳以上

の人口は200万人を突破しました。10歳以上の方の人口は2019年には7万を突破したとか！

今や100歳以上の長寿の方は決して珍しくなくなり、金さん銀さんのように注目を浴びることもなくなりました。

年々伸びる平均寿命ですが、大切なのは健康寿命と盛んに言われるようになりました。

健康寿命とは心身ともに自立し健康的に過ごせる期間のことです。そしてこの2つの寿命に約11年もの隔たりがある事です。これが大きな問題となっております。

70歳以上の方の医療費は一人年間80万円とか！

食事・睡眠・運動いずれも免疫力を高めるには欠かせない重要な要素ですが、この不安の多い世の中では、前向きな心の持ち方が最重要かと思っております。食生活でも私の師、薬学博士 竹内久米司先生の「脳と血管の

老化を防ぐ最強食材」を参考なさって頂けましたら幸いです。
今こそ心・身体・経済の健康が大切な時代だと思つてお祈りします。
コロナ禍が終息して、明るく・楽しく・仲良く・元氣よく健康寿命を延ばして、みんな幸せを分かち合える日が1日も早く来るようにお祈りするばかりです。

GROWTH健康づくり協会
科学的栄養学

脳と血管の老化を防ぐ最強食材

おさかなすずやね

ねぎ	ねぎ	野菜	きのこ類	酢	なつとう	かい藻類	さかな	お茶
アリシン 血小板凝集抑制 血栓予防	ビタミン・ミネラル豊富	水溶性食物繊維 βグルカゴン コレステロール 血糖値低下	クエン酸 赤血球膜を柔軟 血液サラサラ	ナットウキナーゼ 血栓溶解 B2	水溶性食物繊維 脂肪吸収抑制 コレステロール↓	DHA・EPA 血液の質向上	カテキン コレステロール 中性脂肪 低下	抗酸化 コレステロール 中性脂肪 低下

第111回めだかの学校の宿題4頁
特集号があります。

第111回 校長 村田徳治

めだかの学校伝言板

第112回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／川嶋ひろ子

教頭／田村進治

用務員／村松康博

※今回の給食はありません。

お持ち帰りのケーキ(?)があります。

<学舎>静岡県磐田市敷地 782-2

「旧豊岡東小学校 多目的ホール」

※今回はコロナの関係で学舎が変わります。

お気をつけ下さい。

開校日／令和3年6月5日(土) PM 1:20～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

28期通年テーマ：『WITH 新時代 右手に知恵を！

左手に夢を！～前を向いて歩こう～』

今回のテーマ：<アナログ・メダカとデジタル・メダカ？>

<時間割>

●1時間目 国語 鈴木祐之 先生

「第109回校長訓話とプラスアルファって？」

●2・3時間目(合同) 情報

小林成彦先生 埋田千聡先生 大島たまよ先生
「めだかの学校のHPとLINEとFBとブログと…？」

●給食の時間はありません。

PM3:30 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■いや〜やったね！めだかの学校から初めての市長が誕生！

この4月のミニ統一地方選挙で磐田市の草地博昭メダカが、39歳の若さと政策で、磐田市長選に立候補。対抗馬もなく無投票で当選！。よかった。おめでと〜！。

めだかの学校には、城内実メダカや宮澤博行メダカの国会議員、首長では森町町長の太田康雄メダカがいる。また今回の市議会議員選挙に立候補し当選した、磐田市の秋山勝則メダカと芦川和美メダカ、2期目と3期目、ともに若く、よう働いてくれていて益々の活躍が期待されている。隣町の袋井市では、きっちりした政策を示し、最下位ながらも当選し、2期目となる竹野昇メダカもいる。三島市には積極的にまちづくりに関わり、居場所づくりに活躍する野村諒子メダカもおり、女性の活躍の場を広げるべく努力もしている。また秋田県鹿角市では3月に行われた市議会議員選挙に初挑戦した奈良努メダカがいる。選挙結果は「めだか春秋」で、磐田市議だった高田正人メダカは立候補せず、農業に励みつつ奥さまと人生を楽しむとか、それもいいですね。

めだかの初めての市長、期待の星の草地博昭メダカ、4月24日から始動。めだかの活躍で磐田市が面白くなりそう！。それにしても人口17万都市で無投票とは。何おか言わんやである。投票率も50%をいかない。「政治を目指す優秀な人材を育成することがとめられている…」そのよ

うなことが新聞に掲載されていた。草地博昭新市長の熱い思いは、次回「第113回めだかの学校だより」で：おたのしみに。(バラメダカ)

■今、天浜線に思うこと

写真フィルムは50年も経つと劣化が始まり修復できなくなります。そのため当時のフィルムデジタル化を考え、写真のペタ焼きを整理していたところ(その頃全国を蒸気機関車の写真を撮るため飛び回っていました)山形の左沢線、終着駅左沢で構内入換え作業中の機関車の添乗写真がありました。助手席に座って構内や機関士、助手等の作業を約30分撮らせてもらい、小さな車庫主導の転車台(駅員と車掌が力を込めて回した)、駅舎などがよみがえりました。なかでも印象深いのは機関車の振動が直に尻に響く事でした。乗務員は大変な仕事だったと感慨深いです。

天竜二俣駅前には蒸気機関車シゴハチが置いてあります。これを天浜線に利用できないかと思っています。復活は無理ですが、例えば鳥取の第3セクター若桜鉄道の機関車は圧縮空気で動かして体験運転までできます。150メートルのレール上を2往復、素晴らしい経験で全国からファンが集まるとのこと。地元、観光協会、鉄道会社が一丸となって事業を計画、黒字継続を計っているそうで、天浜線でも全国的にも数少ない扇形車庫、転車台があり、側線もあるで駅前の機関車を移動し、走行に必要な下回りを整備すれば最低限ディーゼルカーで引き出して車庫入れや転車台での旋回を行うことができ、これをイベント化すれば、全国からファンが集まること請合い、圧縮空気自力走行が出来ればなお話題性が高まり良い結果が生まれるのではないかと思います。

鳥取の一地方でできることが浜松でやれないことはないし確信します。(山田修平メダカ)

※天竜浜名湖鉄道は、JR東海道線新所原駅(愛知県)から、静岡県掛川駅まで運行されています。

■くださ〜い！書き損じのハガキなどのリサイクル！

「みなさん、書き損じのハガキ、出さなかつた年賀状や、使っていない古いハガキ、往復ハガキの片側だけなど、使っていないハガキなら何でもOKです。引き出しの隅に眠っているのを見つけたら、ぜひボランティア協会へ送ってください」の手紙が、私のところに届きました。

これらのハガキは、新しいハガキや切手に交換してボランティア活動の連絡調整や情報提供などに活用しています、とのこと。めだかの学校では、使用済み切手を集めてボランティア協会へ送っています。こちらは換金して、タイの象のエサや植林事業、高校生の交流事業などで活用しています。心当たりのある方はめだかの事務局バラメダカまでご連絡ください。よろしくお願ひします。

『人・ひと・ヒト…だより』

●三島市の野村諒子メダカ。三島市議。誰かが活躍することを応援すること、県と4つの市の市民活動センターの開設、障害者バンドのマネージャー、地域の居場所の開設、公園での交流イベントの開催など、みなさんが人生を輝かせる場や事業を行うためのお手伝いができればそれが生きがい、だって。いや〜がんばるえ〜。めだかの学校にも入校しました。古い珍しい切手をたくさん寄付してくれました。申込書

と一緒に2000円も。1000円は29日に回しますね。

●三島市の鈴木琢真メダカ。この春、奥さんの実家の近くの青森県弘前市に転居しました。静岡県育ちには寒さが身にこたえますが、まずは津軽弁を覚え、新しい一歩を踏み出したい、だって。今頃は弘前の桜に圧倒されるかも。誰です、来年は弘前の桜を見に遠足したいね！とは…。

●磐田市の井上啓子メダカ。いつもお便りありがとうございます。またこのたび載せて頂きビックリ感謝です！た〜くさんの人々の声をくださり、久しぶりのお名前等々、人それぞれの思いがこぼれられており、夜中に読んでいて少〜ううると…やはりめだかの学校はすごいなあ〜と…そして人々のつながりがはるばるではないと…神原様の人徳と、そして皆様のお気持ちがひとつになって、この紙面にすべてが載せられているんだな、と改めて感謝でいっぱい。また皆様にお会いできる日が楽しみです。また皆様にお会いできる日が楽しみです。だ〜って。

●静岡市清水区の地域活性化戦略研究所の花井孝メダカ。学校だよりからバラさんの苦勞が伝わって参ります。それを陰からフォローする山の神様の内助が…。その支援でバラさんのアイデンティティは守られているのでは、気配で伝わってきます。我が家は、「孤軍奮闘」「四面楚歌」で、孤高と言うより「孤独の人」です。どちらかと言うと、その方が都合が良いのです。コロナ騒ぎもようやく一筋の光明が…。4月から新入社員教育の手伝いで忙しくなります。自分にとって刺激的で楽しい時間です。寸又峡のご利益がらみのプロジェクト。カエルの次は「丸石神様」の仕掛けです。ある石突然山の中から発見される真円に近い丸い石の話です。小夜の中山の夜泣き石もその類いです。終活と口先では言いな

から「興味津々 おせっかい好奇心少年爺」の名に恥じない様、つい首をつっこんで！とにかく行ける所まで行くことにしましょう、だって。好奇心いっぱい！いい加減さへアクセントに注意！もいっぱい！いや～まさに模範的なめだか生でございませう、ハイ。

●浜松市の水村春江メダカ。「めだかの便り」大変な力作でしたね。根をつめてさぞかしお疲れになった事かと。「この道より我を生かす道なしこの道を歩く」きつとこの生き様が今日を支えてくれているのでしょうか、感謝です。いとせめてコロナの今に、「この絵ハガキで心を癒してくださいませ」と。色あざやかな黄色の菜の花の帯、そのうしろには真っ白な雪を冠したゆつたりとした富士の山：「春風に菜の香り」のタイトルが。ありがとう！言い得て妙。

●掛川市の鈴木佳子さん（故鈴木武史メダカの奥様）。宿題のハガキ出すの遅れました。めだかの便り、武ちゃんの仏前に……私も落ち着いたら～武ちゃんのとをついでくれる横山忠志さんが、めだかの学校にいるので、私も入ろうかな、だって。いや～嬉しいね。待ってる、みんな待ってるヨー！

●磐田市の今村純子メダカ。いや～ホントにがんばり屋。4月18日投票の市議選に地元の人が立候補する。応援に大張り切り選挙カーのウグイス嬢に水村春江メダカに依頼とか。水村メダカもやる気十分。エッ、今村メダカも選挙カーに乗るの？。80歳と84歳のウグイス嬢。さすがメダカ生。圧倒されて投票した人が多かったとか。なかつたとか。

●浜松市の城内美メダカ。東京の衆議委員会館内の事務所壁面に、天竜材の木材パネルを貼った。机も椅子も木製品に交換。陳情などに訪れる人や、自分自身やスタッフの

働く環境改善にもつながっている、と。木質化ナンバーワン」を掲げ、天竜材の魅力を伝えている、だって。木のぬくもり、ほんとにいいですね。林業家の思いをもっともつと伝えて下さいね。

●磐田市の鈴木正士メダカ。毎年4月の最終土曜日に「お茶摘み交流会&コンサート」をやっているが、今年もコロナの関係で中止に。毎年100人前後の人が参加して交流していたのに残念ですね。早くコロナ禍が終息するのを願うばかりです、だって。

●森町の榎原淑友メダカ。森町の街中で春と秋の2回「森の蔵展」をやっていたが、こちらもコロナの関係で「春の蔵展」は中止、だって。静岡市の桜まつりや、浜松市の凧まつりは縮小して実施しているが、3密は避けられず課題は多かったようだ。

●北海道才ホーツク佐呂間町の船木耕二さん。AMABIEの絵と一緒に。全国まちづくり交流会in馬路村は、今年の秋か、来年の春に延期。日程はこれから状況判断のうえ決定する、とのこと。全国まちづくり交流会の力リスマ的存在だった足助町の小澤庄一さんが2月22日享年83歳で永眠。私たちが馬路村へ行ったのはいつだったか、つくづく時の流れの早さを感じますね。（※今年の秋は中止）

●岐阜県坂祝町のそばの里深宣ふくどの長谷川正夫メダカ。花見用の種を蒔きました。霜の降りがなくなつた4月に種を蒔き、早いところでは7月に刈り取り、いち早く8月には新蕎麦を味わうことができる。だって。ちよつと待って『花見用の蕎麦？』長谷川さん、8月に新蕎麦を味わうための種まきではないの？。新蕎麦味わいたい人は090・2612・5052へ電話をしてから行ってね。

●浜松市の石野裕子メダカ。還暦で「ゆう

ころんの還暦ディナーパーティー」を、6月20日と27日の2回、時間は17時～20時まで。参加費は3300円（ディナーつき）で。会場は浜松市浜北区の和風・欧風レストラン「ラ・セゾン雪月花」で。締切は4月20日。終わっているが気になる人は080・6924・3339のゆうころんへ電話してみてくださいね。

《寄付》

●浜松市の藤波公子メダカから今回も3000円寄付いただきました。フトコロ蔵しき折感謝感謝です。紙面にてお礼申し上げます。ありがとうございます！

《訃報》

●浜松市引佐町の大谷香代子メダカが4月30日永眠致しました。享年76歳。大谷さんは第70回校長で、いつも美味しい給食を頂いていたのは率先して給食当番を引き受けてくれたおかげです。ありがとう！。心からご冥福をお祈りいたします。

×××

×××

紙面の都合で今回はこれまで。特に今回は「宿題四頁特集号」のひとつとメッセーに、それぞれの生徒の思いやだけが掲載されています。どうぞそちらも楽しんで読んでください。（バラメダカ）

※お知らせ

めだか春秋はリレー形式で、第113回めだか春秋は、西島朋子メダカ。

《めだか春秋》

『最大の貧困とは孤独である』
「世界でいちばん貧しい大統領」の愛称で知られる南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさんの言葉である。

「人生には愛のために多くの時間が必要であり、他者が必要だ。貧しい人というのは、コミュニティを持たない人であり、伴走してくれる人がいない人のこと。最も大きな貧困とは孤独です。私は貧しいわけではない。単に質素が好きただけだ。本当にやりたい自由がある。物が必要なわけではない。」と

また「人間は完璧な存在ではない。間違いを犯すし、矛盾も抱えている。だからこそ政治が必要だ。完璧な社会などあり得ないのだから、如何に共存できるのか考えるのが「政治」であり、社会全体のことの心を砕く。」とも言った。

今年の3月、市議会議員に立候補した。66歳の新たな挑戦であった。結果は惨敗。男女共同参画の実現を目指して、20年もの間活動してきた自分にとって、女性候補者0はおかしい。立候補は自分にとつてのけじめであった。ジェンダーギャップで日本が立ち後れているのは、政治分野で女性議員が少ないことだと報道されているのに議論さえされない。悔しかった。

ムヒカさんは言う。「私は悲観主義者ではない。人生で最も重要なことは勝利することではなく、歩くこと、転ぶたびに起き上がることです。そして自分の意志をもって生きることです。」と。自分が励まされたそんな思いを抱いた。7月2・3日に上演される演劇を楽しむ会第29回定期公演『お休めいどイン』の稽古が1月から始まった。メダカの仲間と同様に、古里には

多くの伴走者がいる。(奈良努メダカ)

■事務局だより

我が家ではツバメが卵を抱いている。メダカの便りが届く頃は、ヒイ、ヒイ、ヒイと子ツバメがエサをねだっているかも。金魚はたくさん孵化し、メダカは今イチです。親が年老いたのかもね。子ツバメは巣立ちました。5羽でした。

さて、第111回めだかの学校は、令和3年3月5日(土)、校長村田徳治、教頭加藤ひとみ、用務員村松康博だったが、新型コロナウイルスの感染が収まらず、『休校・宿題あり』に。第111回の「めだかの学校だより」は、休校だったことと、年賀状など『人・ひと・ヒトだより』の素材が多かったこともあって、ひとりでも多くの人の動きを掲載しようと頑張った結果、なんと8頁になってしまった。多くの生徒から「良かった!」の声があり、嬉しかった。疲れもどこかへ飛んでいった、デスク。

第111回めだかの学校だよりの校長訓話で、村田徳治校長が、メダカの学校のホームページの更新を提案した事もあり、村田校長とバラメダカの2人で色々話し合ったが、「あらためてメカに強い人を含めて打ち合わせしよう」と、3月5日(土)十時から学舎で、村田校長、石野省三メダカ、榊原淑友メダカ、水島加寿代メダカ、大島たまよメダカ、埋田千聡メダカ、事務局のバラメダカの7人で話し合う。はじめに村田校長が、HPの現状「第100回大同窓会の時の内容や、第105回の特別授業の時の写真などを掲載している。また第1回から第100回までのめだかの便りの掲載、その後第101回から第105回までの便りを載せてあり、自分の見たい回の便りを見ることが出来る等を説明。HPの閲覧件数が大幅にアップ、多いときは1日に80回もあったとか、常時閲覧者がい

るようだ。

手直しについては色々検討するが、インターネットを介してのウェブとか、手元のスマホから書き込みが出来る『ブログ』とかについては今はまだ考えず、あいさつ文と第111回までのめだかの便りを載せるとか、そうしたことから始めた方が良いのでは。特に『バラさんめだかの学校』だから、バラさんにFBをやってもらって、めだかの学校グループを作って、そこへ情報を投稿してもらおう。それを便りに。と言う訳で、バラメダカと榊原淑友メダカが、埋田メダカと大島メダカに会議のあとと特訓を受けることに。『なんだこりや、どういうこと?』の2人、数日後バラ宅にて埋田メダカに再特訓。二重セキユリテイまでしてもらって、2時~5時まで。あとは馴れ!と。『分からないことがあれば又来ます!』だって。2人の特訓の状況は埋田メダカがFBに投稿。その後何度か試しに写真など投稿するが。知ってる人から知らない人まで、どんどんどんどん出てくるわ出てくるわ、まさに情報の氾濫。うーん、私には馴染めんなア、はあ、でござい

ます。

第112回めだかの学校職員会議を、4月3日(土)十時から豊岡東交流センターで開く。始め森町の学舎で開く予定だったが、森町でコロナ感染者が何人か出たので、急遽会場と時間を変更して。時間と場所の変更はLINEで!コロナの関係もあって人数は減らして。三役は第111回めだかの学校が開校され無かったので、断と偏見で、校長川嶋ひろ子、教頭田村進治、用務員村松康博。他に石野省三、榊原淑友、伊藤英雄、鈴木正士、服部守孝、天野智加志、大島たまよ、鈴木真弓、白尾恂(校長アッシー)私の13人のメダカ生。まずは校長の挨拶、教頭用務員のひとこと

。始めに『第112回めだかの学校は開校する!』として、第112回のテーマと授業について話し合う。ブログやFBなどインターネットを利用した授業があっても、の案も出て来ているので、2時限を使ってデジタル授業をしよう、と。情報めだかの学校のHPとLINEとFBとブログと?先生は小林成彦、埋田千聡、大島たまよ。1時限目は国語「○○○」水野忠義先生。決めた方がいいが体調悪くダメ。古橋利雄先生、村木謙次先生もダメ、鈴木祐之先生がOKに!テーマは『アナログメダカとデジタルメダカ?』に。

めだかの学校の開校日は、以前は『9月12日、3月、6月の第一金曜日の夜6時20分だったが、今後は夜の開校はやめて、第1土曜日の昼間開校とする』ことに。と言う訳で、第112回めだかの学校は、6月5日土曜日午後1時から、となります。学舎はコロナの関係で森町の一宮総合センターが使用できず、磐田市敷地の廃校となった旧豊岡東小学校2F多目的ホールで行う。12時まで、しきじ土曜倶楽部が使用しており、そのあと使用することになります。場所は磐田市北部獅子ヶ鼻公園の手前です。間違えないで下さいね。(事務局 バラメダカ)

■第29期の受付をしています。

第28期は、令和2年9月1日から令和3年8月31日までですが、実質6月5日の第112回めだかの学校で終了です。第29期は、令和3年9月1日から令和4年8月31日までです。毎年度手続きが必要ですが、継続手続きの受け付けを、6月5日の第112回めだかの学校開校日から始めます。同封の申込書に記入のうえ、入金1000円を添えて提出して下さい。継続手続きのなされない生徒は名簿から

はずれ自主退学となります。28期は10数人の生徒が自主退学扱いとなりました。ご注意ください。新しく入校を希望される方がいましたら事務局までご連絡ください。申込書と資料を送ります。

■頑張ってるんですが、今回も遅れてしまいました

いつもご協力いただいています、石野省三メダカ、田村進治メダカ、伊藤英雄メダカ、水島加寿代メダカ、大島たまよメダカ、まとめて下さる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございます!感謝!。バラメダカもいまだ馴れないパソコンとメール奮闘しましたが、今回もでございます。ハイ。

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和3年8月1日予定。締切7月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙かファックスで。待ってます。メールの方は、

《maduchin-tradyr.tnc.ne.jp》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので一報を)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX 同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

